

6 か国の外国人らと Year-end Party

師走を迎え 15 日、恒例の Year-end Party を開きました。大阪府はこの夏以来、地震、台風、猛暑に見舞われ、対応に追われている間に過ぎていった感があります。この日出席したほとんどの IIN 会員たちと外国人の皆さんは無事だった様子で、外国人 7 人を含む 41 人が参加。すし、サンドイッチなどをつまみながら、英語での自己紹介、グループトーク、ゲームなどで楽しいひと時を過ごしました。



交流を楽しむ参加者たち

英語で 30 秒の自己紹介

外国人はフィリピン、インドネシア、ネパール（2 人）、インド、ロシア、オランダの 6 か国 7 人。IIN でスピーチをしてくれた人、留学生、その家族などです。

開会のあいさつの後、全員が英語での自己紹介。人数が多いため 1 人 30 秒の制限付きで、それを超えるとタイムキーパーがベルを鳴らします。事前に文章を作って復唱していた人もあったようですが、わずかな時間に英語で、となるとスピーチが佳境に入ったところで“無情”なベルが鳴り、あわてる人が続出、笑いを誘っていました。もっとも、例年通りタイムリミットはお構いなしに話し続ける人や 40 秒を要求する人も。

グループトーク

続いて 7 班に分かれて英語でのグループトーク。普段は健康がらみ、旅

行、親の介護についてのトークが目立ちますが、今回はそれぞれの国での災害などの話題もありました。グループでのトークの内容を拾うとだいたい、以下のようなものでした。

○外国人ゲストたちのトークとコメント

「キリスト教の国から来たましたが仏教のことを学んで、その教えのすばらしさを知りました。いろんなことを受け入れる姿勢がすばらしいと思いました」

「日本は工業、産業面だけでなく、人間関係についての考えも進んでいると思いました」

「この国の人親切で協力的。茨木と市民も大好きです！」

「京都は私が住んでるロシア南部（黒海近く）より寒い。しかし、日本の景色は素敵！」。

「高野山へ行って宿坊に泊まった。精進料理は意外においしく、交流も楽しかったです」。

「ネパールでも日本のように地震が起きる。地球温暖化のせいでヒマラヤ山脈の雪が溶けて氷河湖が多数生まれている。これが突然決壊して、村が流されないかと心配」という深刻な話も。

「家庭的・家族的な雰囲気を楽しめました。IINの招待に感謝します」。

「今日の会を実現し、努力してくださった方々の苦勞に感激です」。



文化の違い、災害などについて語り合いました



○IIN 会員たちの声

2回目参加の中学生のハナシ。「外国の人と話をする機会はこれまでありませんでした。このパーティーに参加できてそのチャンスを得ることができ、ありがとうございます。僕も英語力を高めて将来、外国に行き広い世界を見てみたいです」。

「姉妹都市のミネアポリスを訪問して、何度か来茨されているMさんらの歓待を受け感激しました。メンバー同士が仲良くなれたうえ、打ち解けて自分も積極的に行動できるようになり、二重にうれしかった」。

「ジム通いしてます。ヨガとお風呂が楽しみ」。「家の壁を張り替えたら 10 キロ

ものゴミが出ました。「会話が楽しくて、たくさんのお話が出たので、どんな話しをしたか忘れるほどでした。「四国のお遍路をしています」等々。

ジャンケンゲーム

最後に、じゃんけん
で勝ったグループから、皆が持ち寄ったプレゼントを
get するゲーム。じゃんけんは英



景品ゲットの順番は rock—paper—scissors ! で

語で rock-paper-scissors (game)、あるいは lets toss (up)。この“遊び”について「やったことがない」という外国人がいて司会者からまず、説明がありました。このあと、7つのグループから代表が1人出てじゃんけん。最初の勝者のグループから順に景品を獲得しました。

最後に今年2月、例会でスピーチしていただいたネパールのユバさんが「good exchange と memory の場をつくっていただいた」と感謝の言葉を述べるとともに、「皆さんが happy happy happy new year を迎え、来年も spend healthy and happy life を！」と締めくくってくれました。



「どれにしようかな」。景品を選ぶ参加者たち



以上